

令和7年12月3日（水） 全校朝会 校長講話

○それでは、改めて朝の挨拶をしましょう。

わかたけっ子の皆さん、おはようございます。

○今日は、児童朝会と一緒にいるので、手短に話します。

12月になりました。私が武里小に来てから、あっという間に8カ月がたちます。この8カ月で、皆さんはさまざまな面で、大きく成長しています。それは、心も、体もです。いろんな場面での活躍を見ることができてうれしかったです。これからも期待しています。

○反対に、「あれ？4月の方がもっとできていたんじゃないかな？」と最近感じていることが2つあるので、それを今日は話します。

○その二つというのは、「あいさつ」と「そうじ」です。まず、あいさつですが、もちろん4月よりもよくなっている人もいますが、反対にできなくなってしまった人もいます。前にも話しましたが、あいさつについては、小学校時代までに習慣にしておかないと、もっと大きくなってから突然できるようになることは、ほぼありません。相手に伝わるあいさつを、お願いします。明日以降、朝の門でのあいさつ、楽しみにしています。

○次に、そうじです。4月のはじめに武里小のそうじの様子を見た時、「とても静かにそうじができる学校だな」と感心した覚えがあります。でも、最近は明らかにそうじに必要な話し声が聞こえてくることが増えました。トイレ工事をしていて、廊下が狭くなっていたり、通路のためのシートが貼られていたり、そうじしてもなかなか綺麗にならなかつたりするので、やる気が出ないという気持ちも分かります。でも少なくとも、集中してそうじに取り組めばおしゃべりは減るはずです。

○12月は、あいさつ、そうじの名人になるよう、一人一人が頑張ってみてください。お話終わります。